

気候変動の緩和・適応に向けた持続可能な森林経営推進事業

【令和3年度予算概算決定額 86（90）百万円】

<対策のポイント>

温室効果ガス排出の抑制と防災・減災の推進に向けた森林分野の取組として、山地流域の森林等における災害リスクや新型コロナウイルス感染症の蔓延等による社会経済への影響を踏まえ、コミュニティへの経済的インセンティブや森林再生の優先度を検討し、地域強靱化のための総合的で持続可能な森林の保全・利活用方策の普及及びその資金獲得に向けた能力開発を支援します。

<政策目標>

森林・林業分野の知見・技術を活用した、山地流域における地域の強靱化方策を普及

<事業の内容>

<事業イメージ>

国際的山地流域強靱化事業（拡充） 86（52）百万円

- 森林の整備・保全等による山地流域の強靱化に向けて、災害のリスク評価や管理に係る課題の調査や分析、教材開発や研修を通じた能力開発、リスク緩和技術の実証等優良事例の収集やワークショップの開催を支援します。
- 加えて、新型コロナウイルス感染症の蔓延等による社会経済への影響も踏まえつつ、コミュニティの経済的インセンティブの創出や森林再生の優先度を検討し、森林資源及び森林空間を利用した地域の強靱化のための方策を提案・実践します。
- また、途上国自らがこうした森林経営活動の継続・拡大に向けて国際的な基金の活用や投資等の呼び込みを行えるように能力開発を行うとともに、当該取組の国際的な主流化を目的として、各種国際イベントでの情報発信を支援します。

【地域レベルでの取組】

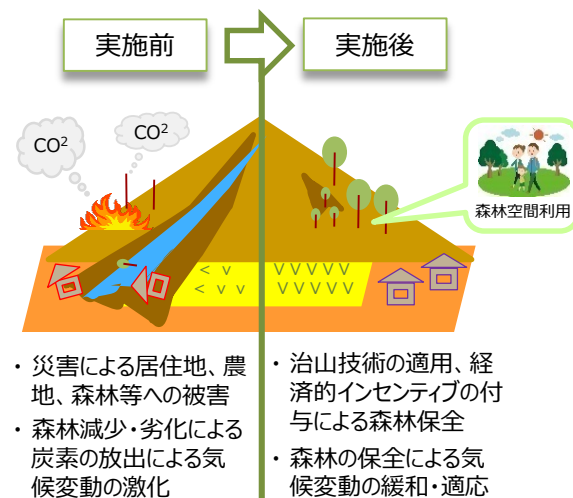
- 山地流域における災害のリスク評価や課題の分析
- 森林を活用したリスク緩和技術の実証等優良事例の収集
- コミュニティの経済的インセンティブの検討
- 森林の情報を踏まえた森林再生の優先度の検討
- 教材開発や研修の実践

【国レベルでの取組】

- 優良事例の収集、普及のためのワークショップの開催
- 地域の強靱化方策を国レベルに発展
- 資金獲得に向けた能力開発

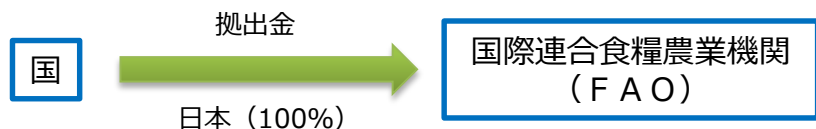
【国際レベルでの取組】

- 取組を国際的に主流化するための情報発信



国際的森林吸収機能強化推進事業（廃止） 0（38）百万円

<事業の流れ>



吸収源・貯蔵庫の保全・強化、気候変動への適応

SDGsの達成

SDG11 住み続けられる街づくりを。
SDG13 気候変動に具体的な対策を。
SDG15 陸の豊かさも守ろう。

【お問い合わせ先】 (1) 大臣官房新興地域グループ (03-3502-5913)
(2) 林野庁計画課 (03-3591-8449)